

日本皇朝元運轉成會方働多議は日教の長カフ

日本皇朝元運轉成會方働多議は日教の長カフ
 之に四民業團の終末の比較的強固のあつたこと、多議が
 經濟戰も超えて思費戰となつて、め方世其共し深刻
 時を帯びて最後迄いふ勇敢に更戰苦闘してこと、宣傳
 戰の成りし行はれをこと事は幾音の方働多議中稀れ
 ん見る大多議で、合社は徹頭徹尾 評議會合目と共
 主座光の統社と見て日本主義ん又するえあ撲滅す
 ることを高唱し、評議會合は純然たる組合であるこ
 とを主張し、戰かい統局百五分の長月後ツ方働
 者ん餘り面白かられる結果に終つたが、がしんを
 かし、継続して原田は幾音あらん、主なる原因を
 みるれば、合目社が比叢の倉庫ん製と口音く多議